青少年創造性開発育成事業
報告書 2019

Annual Report 2019 Promotion of Young People's Creativity

公益社団法人 発明協会

ご　挨　拶

公益社団法人発明協会
会長　野間口　有

発明協会が行う青少年の創造性を育成する事業に対し、日頃よりご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

はじめに、新型コロナウイルスに罹患された方々とご家族の皆様に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い回復をお祈り申し上げます。

さて、2019年度は、新たな試みとして「全日本学生児童発明くふう展」と「未来の科学の夢絵画展」を同時開催し、協賛企業による公開教室などを併催する総合イベント「春の発明ウィーク」を計画しておりましたが、会場内において新型コロナウイルスの感染防止策を講じることが難しいことから、やむなく開催を延期いたしました。当イベントを楽しみにされていた子どもたちには、大変残念に思う次第です。

本報告書では、前述の「発明くふう展」及び「絵画展」入選一覧のほか、全国200を超える地域で活動を行う「少年少女発明クラブ」をはじめ、チームで一丸となって競い合う「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」、世界の青少年と研鑽を積む「青少年創造性開発育成海外交流」などにおいて、子どもたちが自分たちの発想を具現化するために創意工夫する様子を見ていただくことができます。

今後の見通しは不透明な現況ではありますが、フィジカル・ディスタンスを確保するための座席配置や分散登校など、学校現場において新しい生活様式が始まる中で、当協会といたしましては、感染拡大の防止に努めつつ、オンラインによるクラブ活動などの新たな取り組みを模索しているところです。

発明協会は、引き続き子どもたちの創作意欲や夢を後押しする諸事業を実施して参りますので、皆様方におかれましてはご理解、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

公益社団法人 発明協会

◆総　裁　常陸宮殿下
◆会　長　野間口　有（三菱電機株式会社 特別顧問）
◆目　的　発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度の普及啓発等を行うことにより、科学技術の振興を図り、もって我が国経済の発展に寄与することを目的とする。
◆事　業　（1）発明奨励振興事業
（2）青少年創造性開発育成事業
（3）知的財産権制度普及等事業

目　次

巻頭メッセージ…… 3

少年少女発明クラブ…… 6

第78回全日本学生児童発明くふう展 …… 10

第42回未来の科学の夢絵画展 …… 12

第10回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト …… 14

青少年創造性開発育成海外交流…… 16

全国の少年少女発明クラブ一覧…… 19

2019年度 青少年創造性開発育成事業に係る協賛金及び寄付金 …… 23

発明クラブで培った技術者としての基礎

令和元年度関東地方発明表彰式で山梨県知事賞を受賞。

NECプラットフォームズ株式会社
中野　秀樹さん
大町少年少女発明クラブOB
在籍期間:1993年(小5)～1997年(中3)

■発明クラブとの出会い

私は幼少期から祖父の影響で工作が好きな子どもでした。祖父はとても手先が器用で、家の修繕・花壇や庭の手入れ・畑仕事などを卒なくこなしていましたが、子どもに対しても遊具類を自作して与えてくれました。私はそのような環境で育っていく中で、小学校の頃には、厚紙工作、模型メーカー製の工作キット組み立て・改造、ゲルマニウム・ラジオの製作など、その当時の工作少年の多くが通る道を歩んできました。

小学校５年生になった春のことだったと思います。地元の大町エネルギー博物館というところで開催されていた「全日本学生児童発明くふう展」の巡回展示を見学しました。そこでは、様々な作品が稼働状態で展示されていましたが、どの作品も便利そうな機能であるとか、思いがけない動きをさせる仕掛けだとかの創意工夫がされており、見ていてとても楽しいものでした。私も発明工作をしたいと思っていたところ、同博物館で行われる大町少年少女発明クラブの新年度のクラブ員募集が市の広報誌に掲載されていたので、すぐに申し込んで入会することになりました。

発明クラブに所属時のようす。奥の左から2人目が中野さん。

■発明クラブでの活動

このようにして入会した発明クラブでしたが、私には水があっていたようで、その後、中学３年生までの５期にわたって参加することになります。

発明クラブには一般家庭では到底そろえられない様々な手工具や電動工具がありました。それらは指導員の指導の下で大抵は自由に使うことができました（さすがに丸ノコなどの危険が大きいものは、子どもには触れさせてもらえませんでしたが）。特に重宝した工具は電動糸のこ盤でした。これは板材を曲線で切ったり、窓を開けたりする場合に使用します。使い方にちょっとしたコツがあり、慣れるまでは材料をうまく切ることは難しいのですが、使っていく

発明クラブでは色々な作品を制作し、第 29 回長野県発明くふう展努力賞をはじめ、数多くの賞を受賞しました。

小学生の頃、大町少年少女発明クラブの活動場所となる大町エネルギー博物館のプラネタリウム室の前で撮影したもの。２列目 左から２人目が中野さん。

高校生のときには、大町エネルギー博物館でアルバイトとして「サイエンスショー」を担当。科学の面白さをたくさんの人に知ってもらう良い機会になりました。

うちに、早く綺麗に切ることができるようになります。

発明クラブの年間活動の前半はそういった道具の使い方に慣れたり、工作の手順を身に着けるための「基礎工作」から始まります。最初は大体の場合、竹とんぼやブーメランなどを作りました。この時に小刀を使うのですが、あらかじめ指導員の先生によって研ぎ直してもらったものを使用していたため、気持ち良いほどサクサクと削れたことを覚えています。基礎工作では、年長のクラブ員が新人クラブ員に教えることもありましたし、上手な先輩の手つきを見て技を盗むこともよくありました。多人数で工作する楽しみだと思います。

■発明クラブと料理

発明クラブでは、時には工作以外のイベントも行っていました。そのひとつが野外料理です。なぜ発明クラブで料理なのかは定かでありませんが、火を使った調理法は最大級の発明なので、変ということでもないでしょう。使用する箸は各自が青竹から削り出して作っていたので、基礎工作の側面もありました。ともかく、夏には大鍋でそうめんを茹でたり、秋には落ち葉焚きに乗じてさつまいもを焼いたりしました。その場の雰囲気によるものでしょうが、普段食べているものよりも数倍美味しく感じました。

工作好きが料理をすると凝ったものを作る傾向があるようです。当時クラブ員やＯＢの一部で燻製作りが流行していました。一斗缶やペール缶を利用して自作したスモーカーで、ベーコンやビーフジャーキーなどを本格的な方法で作る場合が多かったです。現在のクラブ活動でもイベントとして、２次燃焼を利用した高効率ウッドストーブを各々製作して、冬に雪中ハイクと野外料理を行っているそうです。こういうイベントは普段の活動以上に印象に残り、年を経ても鮮明に思い出せるものです。

工作にしても、料理にしても、それを楽しいと思う理由は、どちらも「創造性」を発揮できるからではないでしょうか？　次は発明クラブでの最も創造的な活動である、「自由工作」を振り返ってみます。

■「自由工作」の活動を通して

学校の夏休みが過ぎたころから、活動は発明くふう展への出展を目標とした「自由工作」が中心になります。ここでは、自由なアイデアに基づいて、知識・技法を総動員してオリジナル作品を仕上げることになります。しかし、アイデアといっても簡単に思いつくものではありません。私の場合は日常生活の「困りごと」を種にして、それをどうやったら効率的にできるだろうか、楽しいと思えるようになるだろうか、などということから着想を得ることが多かったように思います。

取り組むテーマが決まったら、工作作品として実現する方法を検討します。でも本当に実現可能なのか？　実現できる見込みが立ったとして、現在の自分の力量で作品として完成させることができるのか？　このような疑問が生じたときには指導員の先生に相談します。先生は決して解答を示すことはしません（そんなことをしたら、オリジナル作品ではなくなってしまいます）が、アドバイスや加工方法の指導をしてくれました。

さて、どのような作品にするのか全体像が決まったら、設計図を描いていきます。早く工作を始めた

いあまりに急いでやると、計算ミスで寸法の足りない部品を作ってしまうようなミスをします。こういう失敗をしたところで誰に怒られることもありませんが、工作する時間が無駄になるのは嫌なので、自然と丁寧に作るようになっていきます。

部品ができたら組み上げてみますが、最初のうちは思うように機能しないことが多かったです。あるいは、強度が足りずに２、３回試験したら壊れてしまうこともありました。ここから試行錯誤の繰り返しです。寸法を調整してみたり、材料を変えてみたりするなどして改善をしていきます。作品がある程度の形になった段階で更なるアイデアを思いつき、取り入れる場合もありました。このようにしてオリジナル作品を完成させた時は大きな達成感がありました。

■現在の仕事と発明

私がメーカーに入社してから思うことは、企業で行われている製品開発のプロセスと「自由工作」はよく似ていることです。用語は多少異なるかもしれませんが、多くの製造業での製品開発は概ね、製品企画、実現性検討、要件定義、設計、試作、評価、量産の工程で行われると思います。企業や製品開発プロジェクトの規模にもよりますが、ひとりの人間がこれら全ての工程を経験することは難しいでしょう。発明クラブの活動、特に自由工作では、これらのエッセンスを工作を通して、一通り実践することになります。小・中学生だった当時は特に意識していませんでしたが、今改めて発明クラブの活動を振り返ってみると、これは実にすごいことであると思います。このように素晴らしい場を長年に渡って提供していただいている関係者の方々には大変感謝しています。

現在、私はＩＴ機器メーカーで機構設計を行っています。具体的にはＰＣサーバや特定用途向けコンピュータなどの筐体構造や冷却方式の設計です。ＰＣはコモディティ化が進んだと言われるようになって10年以上経ちますが、この間にカタログ性能には現れないような事柄が製品の付加価値を高める要素となってきました。ＰＣサーバを例にとると、同じ機能であればより小型のもの、同じ容積ならばより多くの拡張部品を搭載できるものが求められます。組立易さも必要です。工場での生産性に直結することはもちろんですが、エンドユーザー様自身でオプション部品の装着を行うことがあるからです。また、機器の設置環境によっては、低騒音であることも製品のアピールポイントになります。

上に挙げたような事柄は互いに相反する要求となる場合が多いですから、同時に達成しようとするのは大きな課題です。従来構造だと解決できない場合もあります。しかし、頭をひねって案を考えていると、何らかのアイデアが出て、新しい構造で課題を解決する「発明」が生まれることがあります。私もこのような発明で特許権を取った例がいくつかあります。

特許として認められるためには、単なる着想ではなく、具体的に実現する方法をきちんと説明できなくてはなりません（「新規性」や「進歩性」も必要です）。発明を説明する手段という点で、発明クラブでは工作作品、特許の場合は特許明細書という違いがありますが、発明クラブで自由工作をやり遂げた経験が出願書類作成でも役立っているように感じます。

そのようなこともあり、私の発明（着脱可能なユニットを防振する構造）が、令和元年度関東地方発明表彰において山梨県知事賞を受賞するという栄に浴しました。

このように技術者となった私が振り返ってみると、発明クラブでの活動を大いに活かせられていると言えます。しかし、これは発明クラブの有益性の一側面に過ぎないかもしれません。最も重要なことは、発明クラブが創造性を大切にし、自ら考えぬく力を育む場であるということだと思います。このことは今後の社会では益々必要とされる能力となるでしょう。現在の子どもたちが発明クラブの活動を通して、逞しく成長することを願います。

仕事で発表と討議を行っている様子。自分の考えを伝えるという点で、このような場面でも発明クラブでの経験が活きています。

少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブは、
発明協会創立70周年の記念事業の一環として、
1974年にスタートしました。
全国47都道府県に213か所、
約11,000名の子どもたちと
約2,800名の指導員が活動しています。
（2020年6月1日現在）

KEIRIN
この事業は、
競輪の補助金を受けて
実施しました

子どもたちが主体的に学び、学校教育とは一味違う経験をしています

「工作がしたい」、「発明がしたい」といった意欲をもった子どもたちが集まり、のびのびと自由に発想し、主体的に学びながら楽しんで活動をしています。学校は先生に教わることが中心ですが、発明クラブは様々な学年の子どもたちが自分の意思で集まって一緒に活動しています。学校とは一味違う楽しさや学びを得ています。

発明クラブは、地域と共に歩んでいます

活動場所は、学校、科学館、公民館、児童館、その他の公共施設など地域によって様々です。地方公共団体、地域企業やボランティアの方々など、町ぐるみで、子どもたちの成長を支援する場となっています。

様々な分野の経験豊かな指導員によって、活動が支えられています

指導員として登録いただいている方は、地域企業の技術者、学校の先生、技術者ＯＢ・ＯＧ、教員ＯＢ・ＯＧ、学生ボランティア、発明クラブ卒業生などです。日ごろから、指導方法・教材の研究、指導員・発明クラブ間で情報交換を積極的に行って、熱心に、子どもたちとのふれあいを楽しみながら活動していただいています。

令和元年度少年少女発明クラブ指導員表彰

全国の少年少女発明クラブにおいて、長年、指導員として携わっていただいている方を対象にした「少年少女発明クラブ指導員表彰」の表彰式を挙行しました。

■表彰概要

対象者：発明クラブ指導員として10年以上継続して活動されている方

受賞者：53名

■表彰式

会　期：令和元年11月29日（金）

会　場：東京都港区・日本消防会館　大会議室

※第85回少年少女発明クラブ全国会議と併せて実施

発明クラブ卒業生たちの、
その後の活躍をご紹介します。

はつめいクラブ センパイ図鑑

他人と比較せず、自分のやりたいことをやる！

北名古屋市少年少女発明クラブ（愛知県）　堀野　流聖さん（19歳）

小学5年～中学2年まで在籍。高校生ボランティア指導員後は愛知工科大学ロボット工学科を専攻。

発明クラブと私

発明クラブの良いところは、教えて頂いた知識をすぐに実践（実行）できること。そして、失敗が許されることです。クラブで学んだ知識を活かし、高校では介護用のロボットのプログラムを研究しました。

指導員の皆さんと接して感じた「人の役に立ちたい」という想いを、今度は後輩たちに自分の言葉で伝えようと指導員になりました。クラブ員との会話は8年前の自分を見ているようで、とてもワクワクします。また、新しいアイデアをもらったりする度、指導員としての未熟さを感じ、自分を見つめ直すきっかけにもなります。

後輩へのメッセージ

皆さんは、発明クラブで何を得たいですか。例えばものづくりなら、「作り方」だけでなく「考え方」など色々なことが学べます。そして、作品を他人と比べないことが大切です。ものづくりに、正解や不正解はありません。自分のやりたいことを、一生懸命にやりましょう。発明クラブはそれができる場所であり、それが自分の財産にもなります。あなたがやろうとしていることは、きっと間違いではないですよ。

明るく、はっきり話すことこそが、問題解決の道を切り開く。

松戸市少年少女発明クラブ（千葉県）　吉田　昂永さん（22歳）

小学2年～中学1年まで在籍。高専時に指導員補助、その後は国内のクレーン車メーカーに技術エンジニアとして勤務。

発明クラブと私

もともと、積み木遊びや紙工作など、自分で考えてものを形にすることが好きで、小学5年からのアイデアコースで、掃除機のブロアファンを利用したホバークラフトを作成。そのことが新聞に掲載され、TBS ラジオの「こども電話相談室」に出演しました。

現在はクレーン車メーカーの技術エンジニアとして、マネジメントを担当しています。仕事柄、会社経営者や現場監督など目上の方に意見を述べる機会が多いのですが、クラブで培われた「自分が伝えたいことをいかに相手に上手に伝えるか」というテクニックが非常に役立っていると感じます。いくら若くても、わかりやすく話すことでより説得力が生まれると考えています。

後輩へのメッセージ

“言葉”とは不思議なもので、「話す口調」や「話す姿勢」が変わると、同じ言葉を使っていても相手に与える印象は全く別のものになってしまいます。人間ひとりが持つ力は小さな物ですが、小さな力が集まれば爆発的に大きな力が生まれます。その「力」を集めるためには、考えを発信し、共感する人を集めることが大切だと私は考えます。考えを明るく・はっきりと声に出すことで仲間と共有してみてください。きっと、自分ひとりの考えでは出てこなかったアイデアが生まれてくると思います。

発明クラブの思い出は一生の宝物

千葉市少年少女科学クラブ（千葉県）　横森　洋樹さん（45歳）

小学3年～中学2年まで在籍。現在はヤンマーエネルギーシステム㈱に勤務し、空調機のメンテナンスサポートを担当。

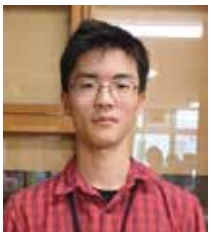
発明クラブと私

当時は、日々発明のアイデア探しや工作に明け暮れている毎日でした。未だ世の中が便利になり過ぎていない時代でしたので、アイデアが沢山浮かんできたり、発明クラブの先輩や同期、後輩と世代を超えて夢中で共同制作に取り組んだりました。現在は、ガスヒートポンプエアコン冷暖房を行うシステムのメーカーで仕事をしております。何でも工夫して、不便な事を便利にする習慣が役立っています。世代を超えた人間関係を築く事でも、当時の経験が生きていると思います。

後輩へのメッセージ

社会に出てから仕事に於いて、人とは違った角度からの見方や考え方（アイデア）だったり、上司、先輩、同僚、後輩とのコミュニケーションを交わして意見を聞くこと、自分なりに考えることは非常に大切です。人と比べるのではなくて、皆が憧れるアイデアマン、アイデアウーマンになれるよう応援しています。

『ものづくり』は楽しくやらなければ、意味が無い！



北名古屋市少年少女科学クラブ（愛知県）　日比野　君洋さん（19歳）

小学5年～中学1年まで在籍。現在は自動車を架装する会社に勤務しながら指導員として活躍中。

発明クラブと私

当時の私は、学校の授業では学ぶことのできないロボットのプログラミングに夢中になり、仲間や先生と競い合いながら、発明クラブでの活動を楽しんでいました。家でも学校でも、クラブで学んだ知識こそが、私の自慢できる唯一の内容でした。現在の道筋を作ってくれたのは、発明クラブだと思っています。

現在、私は自動車を架装する仕事をしています。ロボット化が進む中、規格品などは無く、すべて考えながら形にしていくという「技術」を要する作業で、その楽しさを感じています。「ものづくり」は楽しく実践しなければ意味が無いと思っていて、今は指導員としてその大切さと、過去の失敗談などを率先してクラブ員に話しています。

後輩へのメッセージ

皆さんが体験し、学んでいることに、無駄なものなど一つもありません。今の貴重な時間を大切に、失敗しても僕のように笑い話にできるよう、たくさん挑戦して、楽しく活動してください。

自分で考え、新しいことにどんどん挑戦、継続していこう！

豊田少年少女科学クラブ（愛知県）　神谷　保徳さん（37歳）

小学1年～中学3年まで在籍。現在はAIベンチャーにてAIソリューションを開発中。

発明クラブと私

もともとモノづくりは好きでしたが、工作をできる環境をより身近にしていたのは発明クラブで、夏休みでは必ず自由工作を選択し、毎年何かの賞は貰っていました。その後、豊田高専に進み、電子回路の知識を学び、ロボットコンテストに出場しました。

現在の開発業務においても、どんなものを作るか、どう課題を解決するか、といった考えの基礎には、発明クラブ時代に培った考え方がベースになっていると感じます。指導員として生徒に接する際には、課題内容と現在の先端技術との繋がりなど、モノづくりを行っていく上で将来に意識が広がるような話題を取り入れることをこころがけています。彼らの中から少しでも、今後もモノづくりを続け、楽しんでいける人がでてきたらいいなと思います。

後輩へのメッセージ

今はインターネットから様々な情報が入ってくる時代ですが、自分で考え行動し自分で体験／経験しないと、本当の理解はできません。成功失敗全て同じく将来の力になります。真剣に取り組むほど、継続するほど、より強い力になります。がんばってください。

※年齢は発明クラブニュース掲載当時のものです。

第78回全日本学生児童発明くふう展

本展覧会は、子どもたちにモノづくりを通じて、創作の喜びや発明くふうの楽しさを知ってもらい、その創造力を育てることを目的に開催しています。夏休みの自由研究、発明クラブ活動の中から生まれた作品、ユニークな生活用品など、アイデアに満ちた作品が全国から出品されています。

恩賜記念賞

太陽光採光装置

町田市立鶴川第二小学校
（東京都）
６年　工藤（くどう）　貴博（たかひろ）さん

日中、太陽光で窓の近くは明るいですが、部屋の奥は薄暗いままです。そこで、窓に設置して、太陽光の進行方向を変え、部屋の奥まで光を届けることができる装置を作りました。太陽の高度が変化してもほぼ水平に光が進むように三角柱の配置を工夫しました。また、太陽の方角が変化しても、ソーラーパネルを山型に設置することで、太陽に追従して装置が動くようにしました。これにより、光が斜めに差す午前中でも、窓から5.5ｍ離れた机上で読書に最適な明るさを確保できました。

全国各地で開催された発明くふう展において優秀な成績をあげた754点の作品が各地域から推薦されました。

受賞内訳

恩賜記念賞	1件
特別賞	13件
奨励賞	20件
入選	123件
計	157件

主催・後援

主催：公益社団法人発明協会
後援：文部科学省、経済産業省、特許庁、世界知的所有権機関、日本弁理士会、ＮＨＫ、毎日新聞社、公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、公益社団法人全国工業高等学校長協会

講　評

第78回
全日本学生児童発明くふう展審査を終えて
ーアクティブ・マインドを感じさせる作品たちー

審査委員長　古屋　一仁
東京工業大学名誉教授

第78回全日本学生児童発明くふう展に、各都道府県で開催されました展覧会において優秀な成績を収めた作品を中心に754点の推薦がありました。それらの中から書類審査を通過した作品について第一次実物審査となる審査幹事会を行い、117点と特に優れた40点を選出しました。そして後日開催の審査委員会で第二次実物審査を行った結果、恩賜記念賞以下各賞の作品を選出いたしました。

審査員たちは一つ一つの作品を様々な角度から評価し意見を交わし深く理解しました。学校で学んだことを応用して問題を解決したい、自分たちが欲しかったモノを商品化しベンチャー企業を立ち上げたい、など作者たちの情熱が伝わってきました。若い人たちにアクティブ・マインドが育まれており、親御さんや少年少女発明クラブをはじめとする全国の関係各位のご助力ご支援の賜物であると強く感じた次第です。（抜粋）

令和２年３月に予定していた展覧会・表彰式は新型コロナウイルス感染拡大の防止のため延期しました。

内閣総理大臣賞

つり革でスマホの充電

私立祐誠高等学校（福岡県）２年　堤　斗来さん

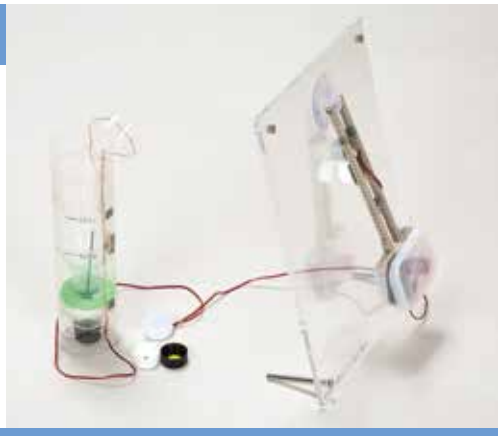
「スマホの充電」それは私たち高校生にとって最大の関心事です。自宅ではバッテリー切れを意識することなくスマホを操作しますが、外出先では必ず「スマホの充電」に悩まされます。友だちと連絡を取りたいとき、SNS の返信などなど急な用事に限って必ずバッテリー切れを起こすのです。そこで電車やバスの「つり革」を使ってスマホを充電する装置を考案しました。これは「つり革」のリングにワイヤレス給電の送電コイルを埋め込み、スマホの受電コイルに電力を送る仕組みです。

文部科学大臣賞

スマート雨量計

町田市立鶴川第二小学校（東京都）４年　工藤　大知さん

最近、集中豪雨による災害が増えているので、自分の家が集中豪雨にあった時、どれくらいの雨量かを知り、取るべき行動を考えるための雨量計を作りたいと思いました。自主避難の目安には時間雨量と連続雨量の２つの測定が必要なので、１台で２つの測定ができるようにしました。時間雨量、連続雨量が自主避難の目安に達すると、光と、窓に共鳴させたよく響く音で知らせてくれます。２つを測定できる市販の雨量計は高価で警告はできませんが、安価・単純な仕組みで作ることが出来ました。



経済産業大臣賞

アクセル！ ブレーキ！ どっち？

下松市立東陽小学校（山口県）２年　末光　怜さん

アクセルとブレーキの踏み間違いを防ぐ装置です。僕のおじいちゃんも事故を起こしそうになったので、この作品のような仕掛けを車に取り付けるといいと思って作りました。アクセルに足を乗せるとハンドルが光ります。アクセルとブレーキを踏むと目の前の靴が同じように動きます。ブレーキメーターも付けました。そしてブレーキを踏むたびに僕の顔をしたブジカエルが飛び出てきます。これを楽しみにしっかりとブレーキを踏んでくれると嬉しいです。

特許庁長官賞

未来のランドセル

柏市立手賀東小学校（千葉県）４年　ヴァイフウィンクル リアム 漸さん

毎日の学校の準備。忘れ物をして困った経験から、絶対に忘れ物をしないランドセルがあったらいいなと考え、この作品を製作しました。プログラミングした RFID リーダーに教科書をかざすと、RFID がスキャンされ、教科書を識別します。ランドセルに入れた物は小型パソコンに記憶されているため、曜日ボタンを押すと、その日に必要、または不要な物を音声で教えます。画面には必要な教科書が映し出され、目でも確認することができる、便利な『未来のランドセル』です。

※学校・学年は応募当時のものです。

第42回未来の科学の夢絵画展

本絵画展は、未来への夢を自由な発想によって絵に表現することで、科学への関心を高めてもらうことを目的として開催しています。構図、色使い、コメントなどのすべてに青少年が科学に見る夢を感じ取ることができます。

文部科学大臣賞

はばのかわるエスカレーター

岡崎市立六名小学校
（愛知県）
5年　石野（いしの）　雅宣（まさのぶ）さん
（岡崎市少年少女発明クラブ）

車イスの人やお体の不自由な人が乗りやすくなったエスカレーターです。エスカレーターの板のまい数などをＡＩが自動でかえます。

受賞内訳

応募総数：8,825 点

	特別賞	優秀賞	奨励賞	合　計
小学校・中学校の部	11	49	79	139
幼稚園・保育園の部	1	5	41	47
外国人学校の部	1	5	10	16
合　計	13	59	130	202

主催・後援

主催：公益社団法人発明協会
後援：文部科学省、経済産業省、特許庁、国立科学博物館、日本弁理士会、ＮＨＫ、朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、公益財団法人 日本美術教育連合、公益財団法人 美育文化協会

講　評

絵と文字で表現する豊かなビジュアルメッセージ

審査委員長　秋山　孝
多摩美術大学教授

子どもは、未来社会の夢を描くことに喜びと楽しみを感じ、興味を持ちながら成長と発達をしていきますが、創作に強要があってはなりません。あくまでも自然の成り行きと楽しい環境が大切です。行き過ぎたアドバイスや感情も出しすぎは感心しません。自然な対応と柔らかいアドバイスが子どもの能力を導き出してくれます。

本年度も18名で構成された審査員で慎重に議論し、受賞作品を決定いたしました。本年度の受賞者の作品は、発想から始まりテーマに即したモチーフの選択、さらに色彩設計、構図、表現へと創作のプロセスを踏みながら見る人に分かりやすくイメージを伝えています。そこには見て感動する喜びと共感が必要なのです。また、共感することや作品を通して会話が弾んだりする場で心のつながりを見出すことができ、人々は絵画に描かれた生活環境の中で上質な時間を過ごせるのです。

発明協会が42年間継続して実施しているこの「未来の科学の夢絵画展」のコンクールと展覧会としての価値を、多くの方々に理解いただけるのではないかと実感しています。

（抜粋）

令和２年３月に予定していた展覧会・表彰式は新型コロナウイルス感染拡大の防止のため延期しました。

経済産業大臣賞

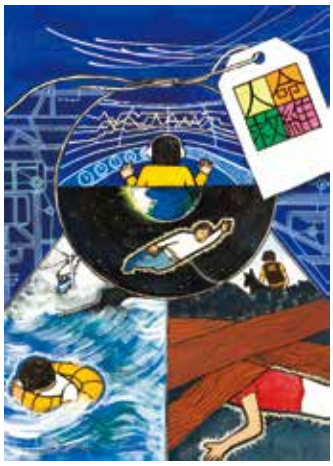
音声道案内つえ

十和田市立三本木小学校（青森県）　5年　築場　瑚都加さん

目的地ボタンをおして、行きたい場所を言うと、つえが音声で目的地まで道を案内してくれます。安全に目的地に行けるように、注意もしてくれます。

特許庁長官賞

人命救維（じんめいきゅうい）



本宮市立白沢中学校（福島県）

1年　三瓶　凪紗さん

「人命救維（きゅうい）」という繊維には生命維持装置やＧＰＳ機能がついて、宇宙に行けたり捜索ができ、事故の時などに救急処置をしてくれる、人の命を救う繊維です。

発明協会会長賞

おそうじロボット

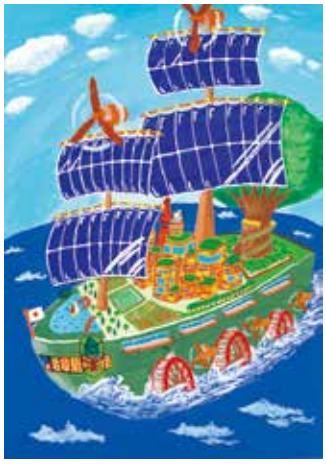
四街道市立大日小学校（千葉県）

1年　二村　彩月さん

体全部を使えるロボットです。頭はハタキ、耳は水道、お腹はゴミ箱、おしりはぞうきん、足はホウキとチリトリです。一緒にたのしくそうじをしたいです。

発明協会会長賞

ｅｃｏシップ　未来の世界一周旅行



郡上市立八幡中学校（岐阜県）

3年　吉田　剛さん

再生可能エネルギーで動く船があれば地球温暖化や有限資源に影響を与えることはなく、天候によって旅先が変わる気まぐれな世界一周旅行を楽しめます。

発明協会会長賞（幼稚園・保育園の部）

足の速いライオンに変身できる飴

鶴見幼稚園（大阪府）　石﨑　琴葉さん

水色の飴を食べると、ライオンに変身できちゃう！

発明協会会長賞（外国人学校の部）

夜の宇宙に輝く星

東京 YMCA インターナショナルスクール（東京都）　5年　Miga Oh（呉　美佳）さん

この絵は、未来の宇宙の街を描いたものです。この街の地面には、水と人工太陽で植物や食物が育っています。また、この街には、宇宙に様々な天気を作るお天気製造機があります。

※学校・学年は応募当時のものです。

文部科学大臣賞

チーム名 どんぐりモモンガ
（東京都代表：町田市少年少女発明クラブ）

作品名 ゆめの森

動物が水をくみ上げると噴水が湧きだし、木が伸びてたくさんの花が咲く様子をカムやプーリーを用いて表現。モモンガ紙飛行機も次々と飛び立ち、会場を沸かせました。

特許庁長官賞

チーム名 あやめ～みやこんじょのはな～
（宮崎県代表：都城少年少女発明クラブ）

作品名 宮崎の宝物

特産物などを宇宙船で運ぶ様子を車両の連結と切り離しを効果的に使って表現。
次々と立ち上がるキャラクターや打ち上げ花火など、からくりには一切電池を使わず、カムやゴムで工夫していました。

地区大会

会　　期 ： 令和元年６月～９月
参加都道府県 ： 34 都道府県
実 施 地 区 数 ： 68 地区
参加チーム数 ： 543 チーム

全国大会

会　　期 ： 令和元年 11 月 30 日（土）
会　　場 ： 東京工業大学　屋内運動場
出場チーム数 ： 60 チーム

主催・後援・特別協賛

主　　催 ： 公益社団法人発明協会
後　　援 ： 文部科学省、経済産業省、特許庁、東京工業大学、日本弁理士会、ＮＨＫ、読売新聞社、全国連合小学校長会、全日本中学校長会
特 別 協 賛 ： 株式会社荏原製作所

KEIRIN
この事業は、競輪の補助金を受けて開催しました

コンテスト概要

コンテスト課題：「からくりパフォーマンスカー」

コンテスト内容：未来・環境・宇宙・スポーツ・地元などＰＲしたいものを紹介

■課　題

制限時間１分で、２つの課題をクリア

①動力車と山車を連結

②パフォーマンスを行いながら走行

■審査のポイント

・パフォーマンス走行の正確さ

・パフォーマンス内容

・作品（山車・動力車）の工夫点

・作品プレゼンテーション（決勝のみ）

賞　名		地　域	チーム名	作品名
特別賞（金メダル）	文部科学大臣賞	東京都	どんぐりモモンガ	ゆめの森
	特許庁長官賞	宮崎県	あやめ～みやこんじょのはな～	宮崎の宝物
優秀賞（銀メダル）	発明協会会長賞	東京都	kinako	チューリップと親指姫
	発明協会会長賞	愛知県	ウリ坊ズ	自然×技術＝“夢の未来”
	発明協会会長賞	大分県	チーム別府	べっぷ丸
	JKA 会長賞	愛知県	みどりボーイズ	サイコー！小学校生活
	荏原製作所賞	愛知県	Ｙワイ兄妹	甘くておいしいニンジン「へきなん美人」
	日本弁理士会会長賞	愛知県	隼 TOYOTA	世紀のミッション
	NHK 会長賞	福井県	ＨＳＭ建設	僕たちの住む福井ー過去から未来へー
	読売新聞社賞	広島県	ひろしま TOROCCO	未来の広島
	グッドチャレンジ賞	青森県	スカイブルー	お花見
	WEB ポイント賞	島根県	チーム SAT	出雲神話

2019 IEYI（世界青少年発明工夫展）

イベント概要

本展は、アジアを中心とした国々の若き発明家が集い、毎年、主催国を変えて開催されています。2019 年度は、インドネシア共和国・タンゲラン市で開催されました。

名　　称	2019 International Exhibition for Young Inventors（世界青少年発明工夫展）
開 催 期 間	令和元年 10 月 23 日（水）～ 25 日（金）（派遣期間　10 月 20 日（日）～ 27 日（日））
会　　場	インドネシア・コンベンション・エキシビション（タンゲラン市）
主　　催	インドネシア科学院（LIPI : Lembaga Ilmu Pengetahuan Indonesia）
参加国・地域	中国、インドネシア、日本、マカオ、マレーシア、フィリピン、ロシア、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム
参 加 作 品 数	創作品 126 点、絵画 14 点

特別協賛：株式会社荏原製作所

KEIRIN
この事業は、競輪の補助金を受けて開催しました

受賞結果

部　門		氏　名	受賞結果	発明クラブ
創作部門	シニア	阿部 将大	金賞、台湾特別賞	
		清水 蓮、清水 嵐	銅賞、マレーシア特別賞	大阪市森ノ宮
		髙田 稜	銀賞	
		和地 亮太朗	銀賞、マカオ特別賞	前　　橋
	ジュニア	元明 華衣、松山 柚乃花、元明 誠華	ロシア特別賞	都　　城
		末光 洋仁	銅賞	
		鈴木 創妃光	金賞、中国特別賞	
		中澤 里菜	銀賞、タイ特別賞	
		松岡 陽	金賞、インドネシア特別賞、フィリピン特別賞	
絵画部門	ジュニア	新関 琥太郎	金賞	十 和 田 市
		山本 伊織	銀賞	湖　　西

シニア　：15 歳以上
ジュニア：14 歳以下

展　覧　会

初日は開会式。

表彰式で流す動画を撮影中の阿部団員。

トークショーでプレゼンを行う
松岡団員。

表　彰　式

皆さんおめでとうございます！

今回から新設されたEBARA 賞はインドネシアの青年が受賞しました。

「全日本学生児童発明くふう展」（第 76、77 回）、「未来の科学の夢絵画展」（第 40、41 回）及び「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」（第 8、9 回）で優秀な成績を収めた青少年計 14 名で構成された日本代表団は、金メダル 4 個、銀メダル 4 個、銅メダル 2 個、各国特別賞 8 個を獲得し、全員受賞という素晴らしい成果を挙げました。

金メダル受賞

車いす用逆進防止装置

阿部（あべ）　将大（まさひろ）さん
（北海道札幌南高校１年）

私は、今回の経験を通して、自分が思っていた言語の壁がそれほど高くないということに気が付きました。これまで言語こそが異国の人とコミュニケーションをとるうえでの最大の隔たりであると思っていました。しかし、今回、自分の作品を発表した際、私は決して英語をうまく話せたわけではありませんが、作品を使ったりジェスチャーなどを用いたりしたことで伝えることができました。このことから、自分の意識次第でコミュニケーションは行うことができ、言語は大きな問題ではないのだと学びました。

今回の交流で、時には真剣に、時には楽しく現地の人や他国の派遣団の人と交流できたのはとても良い思い出です。特に、２日目に説明した台湾の派遣団の人が次の日に自分のブースに招いて作品を説明してくれたことはとても嬉しく思いました。

また、今回の派遣団では、一緒にインドネシアに派遣された方達ととても仲良くなることができました。はじめは知り合いが一人しかおらず、異国の地で楽しくやっていけるか心配だったのですが、いい人や面白い方ばかりで、すぐに打ち解けることができ、心底来てよかったと思いました。普段は関わりのない地域、年代の様々な才能あふれる方々と交流でき、とてもうれしく思います。この機会、人との縁は貴重なものだと思うので、この先も大切にしていきたいと思います。

今回の展覧会では、様々な作品がありました。様々なアイデアが用いられ、様々なアプローチで作品が作られていました。私は将来、このような作品の権利を守れるような仕事をするという目標を持ち、今回の貴重な経験をこれからの人生に生かしていきたいと思っています。

（感想文より抜粋）

銀メダル受賞

ビーダマプレーヤー

中澤（なかざわ）　里菜（りな）さん
（千葉市立花園中学校２年）

今回、インドネシア派遣団に選んでいただいたことは、とても嬉しかったです。派遣団の皆とは初対面だったため話せるか不安でしたが、学校ではできなかったプログラミングなどの専門的な話ができる友達とたくさん話すことができて良かったです。

きちんと話せるように練習したスピーチですが、いざ話し始めると、動作を求められる機会が数多くありました。最初は手惑いましたが、原稿を見なくても話せるように練習していたので、準備は本当に大切だと実感しました。また、製作した作品は動作に多少の時間がかかるため、Wait please. などの簡単な単語で話すことができて良かったです。また、きちんとした文法で英語を話すことができるかと心配でしたが、単語を並べて伝えようとすると向こうも理解してくれたので、そこまで心配する必要はありませんでした。

出発前に話せるか心配していた派遣団の皆とは、後半にはドッキリを仕掛けたり、ゲーム大会を行ったりなど、とても仲良くなれました。今では、どうして最初から話さなかったのだろうと思っています。派遣団のブースはもちろん、他の国のブースも少し見に行きました。説明が丁寧で物怖じせず、堂々と話していました。何より自分の作品を見て欲しいという思いをひしひしと感じ、私も見習って堂々と自分の作品を楽しみながら説明しようと思えることができました。

審査の結果、賞を受賞する事ができました。何よりもたくさんの他の国の人と関わりを持つことができ、自分の作品を大勢の人に知ってもらい、楽しんでもらうことができたことは、とても嬉しいことです。頑張れば、それ相応の結果が得られることを知りました。これからも何事にも全力で取り組んでいきたいとおもいます。

この度はありがとうございました。

（感想文より抜粋）

※学校・学年は開催当時のものです。

全国の少年少女発明クラブ一覧

■北海道・東北ブロック

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
1	北海道	札幌中島少年少女発明クラブ
2		函館少年少女発明クラブ
3		小樽少年少女発明クラブ
4		帯広少年少女発明クラブ
5		札幌西少年少女発明クラブ
6		北見少年少女発明クラブ
7		釧路少年少女発明クラブ
8	青森県	十和田市少年少女発明クラブ
9		八戸市少年少女発明クラブ
10		弘前市少年少女発明クラブ
11		青森市少年少女発明クラブ
12		五所川原市少年少女発明クラブ
13		黒石市少年少女発明クラブ
14		三沢市少年少女発明クラブ
15		小泊少年少女発明クラブ
16		平川市少年少女発明クラブ
17		六ヶ所村少年少女発明クラブ
18		板柳町少年少女発明クラブ
19	岩手県	盛岡市少年少女発明クラブ
20		奥州市少年少女発明クラブ
21		北上市少年少女発明クラブ
22		大東町少年少女発明クラブ
23		花巻少年少女発明クラブ
24		宮古市少年少女発明クラブ
25		一関市少年少女発明クラブ
26		遠野市少年少女発明クラブ
27	宮城県	仙台市泉少年少女発明クラブ
28		仙台市太白少年少女発明クラブ
29		仙台市青葉少年少女発明クラブ
30		大和町少年少女発明クラブ
31		富谷市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース　2019年５月号

はつめいプリンセス

御坊市少年少女発明クラブ（和歌山県）

柏木　葵さん（小６）

４年生のときに「べんりなおりたたみイス」、５年生のときに「カラフル災害用トイレ」を発明コンテストで制作し、それぞれ市長賞とデザイン賞を受賞しました。今年から私の妹も発明クラブに入会したので、一緒に活動できるのが楽しみです。

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
32	秋田県	大館少年少女発明クラブ
33		秋田市少年少女発明クラブ
34	山形県	山形少年少女発明クラブ
35		鶴岡少年少女発明クラブ
36		東根少年少女発明クラブ
37		三川少年少女発明クラブ
38		米沢少年少女発明クラブ
39		最上少年少女発明クラブ
40		天童少年少女発明クラブ
41	福島県	福島市少年少女発明クラブ
42		郡山市少年少女発明クラブ
43		南相馬市少年少女発明クラブ
44		会津若松市少年少女発明クラブ
45		喜多方市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース　2019年７月号

はつめいプリンス

川崎北部少年少女発明クラブ（神奈川県）

宮　怜央さん（小５）

小３で兄と一緒に参加したチャレコン全国大会で銅メダルを獲得、小４の発明工夫作品「自転車来たよサウンド」は県展に入賞することができました。アイデアを形にするのは大変だけれど、モノづくりは楽しいです。今年は最強の動力車に仕上げて、クラブの動力車すもう大会で優勝を勝ち取りたいです。

■関東ブロック

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
46	茨城県	水戸少年少女発明クラブ
47		ひたちなか少年少女発明クラブ
48		石岡少年少女発明クラブ
49		日立少年少女発明クラブ
50		牛久市少年少女発明クラブ
51	栃木県	小山市少年少女発明クラブ
52	群馬県	前橋少年少女発明クラブ
53		高崎少年少女発明クラブ
54		桐生少年少女発明クラブ
55		富岡少年少女発明クラブ
56	埼玉県	加須市少年少女発明クラブ
57		さいたま市少年少女発明クラブ
58		新座市少年少女発明クラブ

（2020年６月現在）

全国の少年少女発明クラブ一覧

■関東ブロック

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
59	千葉県	千葉市少年少女科学クラブ
60		八匝少年少女発明クラブ
61		松戸市少年少女発明クラブ
62		旭少年少女発明クラブ
63		佐倉少年少女発明クラブ
64		茂原少年少女発明クラブ
65		市原・袖ケ浦少年少女発明クラブ
66	東京都	台東区少年少女発明クラブ
67		調布少年少女発明クラブ
68		おおた少年少女発明クラブ
69		町田市少年少女発明クラブ
70	神奈川県	横浜中田少年少女発明クラブ
71		川崎少年少女発明クラブ
72		川崎さいわい少年少女発明クラブ
73		川崎北部少年少女発明クラブ
74		海老名少年少女発明クラブ
75	長野県	大町少年少女発明クラブ
76		長野少年少女発明クラブ
77		松本少年少女発明クラブ
78		飯田少年少女発明クラブ
79	山梨県	甲府少年少女発明クラブ
80		都留少年少女発明クラブ
81		身延町少年少女発明クラブ
82	静岡県	湖西少年少女発明クラブ
83		三島市少年少女発明クラブ
84		沼津市少年少女発明クラブ
85		藤枝市少年少女発明クラブ
86	新潟県	上越市少年少女発明クラブ

■中部ブロック

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
87	愛知県	刈谷少年少女発明クラブ
88		豊田少年少女発明クラブ
89		大府市少年少女発明クラブ
90		西尾市少年少女発明クラブ
91		東海市少年少女発明クラブ
92		安城市少年少女発明クラブ
93		高浜市少年少女発明クラブ
94		半田市少年少女発明クラブ
95		岡崎市少年少女発明クラブ
96		知立少年少女発明クラブ
97		碧南市少年少女発明クラブ
98		一宮少年少女発明クラブ
99		阿久比町少年少女発明クラブ
100		豊川少年少女発明クラブ
101		名古屋少年少女発明クラブ
102		蒲郡少年少女発明クラブ
103		豊橋少年少女発明クラブ
104		大口少年少女発明クラブ
105		北名古屋市少年少女発明クラブ
106		日進市少年少女発明クラブ
107		田原市少年少女発明クラブ
108		愛知みよし少年少女発明クラブ
109		幸田町少年少女発明クラブ
110		尾張旭市少年少女発明クラブ
111	岐阜県	岐阜市少年少女発明クラブ
112		各務原市少年少女発明クラブ
113		大垣市少年少女発明クラブ
114		多治見市少年少女発明クラブ
115		瑞穂市少年少女発明クラブ
116	三重県	津市少年少女発明クラブ
117		鈴鹿少年少女発明クラブ
118		河芸少年少女発明クラブ
119		桑名市少年少女発明クラブ
120	富山県	高岡少年少女発明クラブ
121		黒部少年少女発明クラブ
122		小杉少年少女発明クラブ
123		砺波市少年少女発明クラブ
124		小矢部少年少女発明クラブ
125	石川県	金沢市少年少女発明クラブ
126		小松市少年少女発明クラブ
127		羽咋市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース　2019年９月号

はつめいプリンス

仙台市太白少年少女発明クラブ（宮城県）

酒井　謙輔さん（小５）

僕は発明クラブに所属して２年目です。昨年の自由アイデア工作でモーターと電池を使い「ワンワンパトロール」という作品を作ってアイデア賞をもらい、とても嬉しかったです。今年もいろいろな活動が楽しみです。

■近畿ブロック

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
128	福井県	福井市少年少女発明クラブ
129	滋賀県	大津少年少女発明クラブ
130		多賀町少年少女発明クラブ
131		永源寺少年少女発明クラブ
132		愛荘町少年少女発明クラブ
133		栗東市少年少女発明クラブ
134		湖南市少年少女発明クラブ
135		彦根市少年少女発明クラブ
136	京都府	長岡京市少年少女発明クラブ
137	大阪府	交野市少年少女発明クラブ
138		東大阪市少年少女発明クラブ
139		大阪市森之宮少年少女発明クラブ
140		大阪市日本橋少年少女発明クラブ
141		大阪市生野少年少女発明クラブ
142	兵庫県	神戸市少年少女発明クラブ
143		淡路少年少女発明クラブ
144		伊丹市少年少女発明クラブ
145		姫路少年少女発明クラブ
146	奈良県	大和郡山市少年少女発明クラブ
147		高取町少年少女発明クラブ
148		奈良市少年少女発明クラブ
149	和歌山県	有田市少年少女発明クラブ
150		海南市少年少女発明クラブ
151		和歌山市少年少女発明クラブ
152		御坊市少年少女発明クラブ
153		紀の川市少年少女発明クラブ
154		有田川町少年少女発明クラブ
155		橋本市少年少女発明クラブ
156		田辺市少年少女発明クラブ
157		新宮市少年少女発明クラブ
158		岩出市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース　2019年11月号

はつめいプリンセス

八戸市少年少女発明クラブ（青森県）

松山　結宇さん（小4）

私は色々な事に挑戦できる発明クラブが大好きです！昨年の発明くふう展では「前がみカットぼうし」を考えて青森県知事賞、今夏はエネルギー・環境問題アイデアコンテストで「ピアノ発電」をプレゼンテーションして最優秀賞を受賞しました。これからも楽しく活動しながら、わくわくするアイデアを発見したいです。

■中国ブロック

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
159	鳥取県	鳥取市少年少女発明クラブ
160	島根県	出雲少年少女発明クラブ
161		大社町少年少女発明クラブ
162		日原少年少女発明クラブ
163		松江少年少女発明クラブ
164	岡山県	玉野市少年少女発明クラブ
165		津山市少年少女発明クラブ
166		岡山市少年少女発明クラブ
167	広島県	広島少年少女発明クラブ
168		呉市少年少女発明クラブ
169		東広島市少年少女発明クラブ
170		福山少年少女発明クラブ
171	山口県	柳井市少年少女発明クラブ
172		山口市少年少女発明クラブ
173		下関市少年少女発明クラブ
174		田布施町少年少女発明クラブ
175		防府市少年少女発明クラブ
176		宇部市少年少女発明クラブ
177		周南少年少女発明クラブ

■四国ブロック

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
178	徳島県	阿南市少年少女発明クラブ
179		北島町少年少女発明クラブ
180		三好少年少女発明クラブ
181	香川県	三木町少年少女発明クラブ
182		三豊市少年少女発明クラブ
183		東かがわ市少年少女発明クラブ
184	愛媛県	今治市少年少女発明クラブ
185		砥部町少年少女発明クラブ
186		松山市少年少女発明クラブ
187		新居浜市少年少女発明クラブ
188	高知県	南国市少年少女発明クラブ

（2020年6月現在）

全国の少年少女発明クラブ一覧

■九州・沖縄ブロック

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
189	福岡県	北九州市少年少女発明クラブ
190		飯塚少年少女発明クラブ
191		くるめ少年少女発明クラブ
192	佐賀県	武雄市少年少女発明クラブ
193		佐賀市少年少女発明クラブ
194	長崎県	長崎市科学館少年少女発明クラブ
195		諫早市少年少女発明クラブ
196	熊本県	荒尾少年少女発明クラブ
197		熊本市少年少女発明クラブ
198	大分県	大分少年少女発明クラブ
199		別府少年少女発明クラブ
200		きつき少年少女発明クラブ
201		佐伯市少年少女発明クラブ
202		ひた少年少女発明クラブ
203		豊後高田少年少女発明クラブ
204		宇佐少年少女発明クラブ
205		くにさき少年少女発明クラブ
206		中津少年少女発明クラブ
207		由布市少年少女発明クラブ
208	宮崎県	都城少年少女発明クラブ
209		宮崎少年少女発明クラブ
210		延岡少年少女発明クラブ
211	鹿児島県	鹿児島少年少女発明クラブ
212		薩摩川内市少年少女発明クラブ
213	沖縄県	なは市少年少女発明クラブ

（2020 年 6 月現在）

少年少女発明クラブニュース　2020 年 3 月号

はつめいプリンス

台東区少年少女発明クラブ（東京都）

山近　晴也さん（小 5）

ぼくにとって発明クラブは、自分のやりたいことを選べるので、まるで宝箱のようです。

東京都児童生徒発明くふう展では、先生からの助言もいただき「ふくろをなくさない折りたたみかさ」で優秀賞を受賞しました。台東区少年少女発明クラブ創立 25 周年記念式典では、「mekeneko」という、スクラッチでプログラミングをしたゲームを発表しました。これからは困っていることを解決できる発明をしたり、プログラミングでみんなが夢中になるゲームを作ったりしたいです。

発明協会発行媒体「少年少女発明クラブニュース」（奇数月発行）では、毎号の表紙で発明クラブの紹介をしています。

今回の報告書では、2019 年度に表紙を飾った「はつめいプリンセス＆プリンス」をご紹介しました。

※所属・学年は掲載時のものです。

★ウェブサイト「はつめいキッズ」★

ホームページ「はつめいキッズ」は、発明協会の青少年創造性開発育成事業紹介に加え、ホームページを訪れた子どもたちのさまざまな意欲を刺激し応援するコンテンツになっています。

【URL】http://kids.jiii.or.jp

■少年少女発明クラブ
■地域活性化アイデア創作活動
■全日本学生児童発明くふう展
■全国少年少女チャレンジ創造コンテスト
■未来の科学の夢絵画展
■青少年創造性開発育成海外交流派遣団
＋工作のヒント、発明クラブニュース、
　過去の大会動画などが掲載されています

2019年度 青少年創造性開発育成事業に係る協賛金及び寄付金

当協会の「青少年創造性開発育成事業」に対し、多くの企業・団体から協賛金及び寄付を賜りました。多くのご支援に対し、心より御礼を申し上げます。

皆さまからいただいた貴重な資金を活用させていただき、少年少女発明クラブ、全日本学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展、全国少年少女チャレンジ創造コンテストをはじめとする「青少年創造性開発育成事業」を実施することができました。これにより、モノづくりを通じた科学的な考え方、発明工夫の重要性等の意識向上を図り、我が国の次代を担う創造性豊かな人材の育成に努めて参ります。

公益社団法人発明協会

青少年創造性開発育成事業　報告書 2019
Annual Report 2019
Promotion of Young People's Creativity

発行／ 2020 年 6 月

はつめいキッズ
こどもと一緒に未来をクリエイト

お問い合わせ先／
公益社団法人発明協会　青少年創造性グループ

〒105－0001 東京都港区虎ノ門3－1－1
虎の門三丁目ビルディング4階
TEL 03－3502－5434　FAX 03－3502－3485

公益社団法人発明協会　Webサイト　http://koueki.jiii.or.jp/

はつめいキッズ　Webサイト　http://kids.jiii.or.jp/

本書の全部または一部の無断転用を禁じます。
©2020 Japan Institute of Invention and Innovation

発明協会は様々な事業を通じ、
未来の日本を担う子ども達の
創造性の開発・育成を推進しています

青少年創造性開発育成事業協賛企業

ゴールドスポンサー

AsahiKASEI
EBARA
食品加工機械・製菓機械 カジワラ
Canon
KOBIRD
SHIMA SEIKI
JPAA 日本弁理士会
Panasonic
pigeon
HITACHI Inspire the Next
MITSUBISHI ELECTRIC Changes for the Better

シルバースポンサー

AMADA
NTT DATA
サタケ
EPSON EXCEED YOUR VISION
DNP 大日本印刷
DENSO Crafting the Core
TOSHIBA
より、そう、ちから。東北電力
TOYOTA 株式会社 豊田自動織機
SEL 株式会社 半導体エネルギー研究所

ブロンズスポンサー

アイシン精機株式会社
株式会社キンセイ産業
株式会社ジェイテクト
DMG 森精機株式会社
トヨタ紡織株式会社
日本発条株式会社
株式会社山本製作所
アステラス製薬株式会社
寿産業株式会社
株式会社シェルター
東レ株式会社
日産自動車株式会社
富士フイルム株式会社
株式会社石井鐵工所
株式会社コロナ
株式会社島津製作所
豊田合成株式会社
日東電工株式会社
ブラザー工業株式会社
キタムラ機械株式会社
株式会社ササキコーポレーション
住友電気工業株式会社
トヨタ車体株式会社
日本全薬工業株式会社
本田技研工業株式会社

◆寄付　トヨタ自動車株式会社